

音楽科 1年生 学習計画と評価基準について

節	学習時期	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
楽典	4月～3月	様々な音符や休符、音楽記号など基礎的な名前や意味などを理解している。	それぞれの記号の特徴をふまえ、演奏でどのような表現がふさわしいか、生み出す効果について考える。	それぞれの記号の特徴に関心を持ち、ワークシートにまとめるなど主体的に学習活動に取り組もうとしている。
合唱曲に親しむ	4月～7月	・合唱を通じた音楽の美しさや感動を理解し、楽しみながら合唱することができる。	思いや意図を持ってその曲にふさわしい、創意工夫した合唱表現をすることができる。	主体的・協働的に恥ずかしがらずに合唱を通じた音楽表現に取り組もうとしている。
魔王	5月	「魔王」の曲想と音楽の構造や歌詞の内容とのかかわりを理解している。	「魔王」の演奏を鑑賞し、そこから生まれる感動の要因について考えることができる。	「魔王」の歌詞が表す背景や心情及び曲の表情や味わいに関心を持ち、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。
リコーダー	5月～7月	アルトリコーダーの基本的な演奏技能を身につけ、簡単な曲を表現できる。	アルトリコーダーで美しい演奏をするために必要な要素を考え、創意工夫している。	アルトリコーダーで曲を演奏できる喜びを目指し、主体的・協働的に練習に取り組もうとしている。
学年・全校合唱	7月～11月	文化祭や津市音楽会で学年・全校で合唱発表するために必要な美しい発声、正しい音程での歌唱などの技能を身に付け、表現している。	現状に対して、より美しく感動的な合唱表現をするために必要な要素を考え、創意工夫することができる。	学年・全校合唱の練習に対して、パートやクラスで主体的・協働的に参加しようとしている。
「春」	10月	「春」の曲想と音楽の構造や演奏形態、使用される楽器やソネットの内容を理解している。	「春」の演奏を鑑賞し、そこから生まれる感動の要因について考えることができる。	「春」が表す背景や情景及び曲の表情や味わいに関心を持ち、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。
日本の歌曲	11月～12月	「赤とんぼ」「浜辺の歌」の曲想と音楽の構造や歌詞の内容とのかかわりを理解している。またこれらの曲を美しく感動的に歌うために必要な発声や身体を使い方などの技能を身に付け、歌唱で表現している。	「赤とんぼ」「浜辺の歌」を現状に対して、より美しく感動的な合唱表現をするために必要な要素を考え、創意工夫することができる。	「赤とんぼ」「浜辺の歌」の曲の背景の理解や歌唱練習に対して、主体的・協働的に取り組もうとしている。
音楽を動した	11月～12月	日本や世界の様々な音楽表現を鑑賞し、そこから生まれる感動を体感することができる。	感動的な音楽表現について、その要因を分析し、考えることができる。	興味関心を持って、様々な音楽表現を鑑賞し、それをもとに自分でも主体的な表現活動に取り組もうとしている。
箏	1月	箏演奏する技能を身に付け、「さくらさくら」のメロディを演奏することができる。	箏を演奏するために必要な技法を考え、創意工夫することができる。	箏の練習に対して主体的・協働的に取り組むことができる。
日本の伝統音楽	1月～2月	箏曲「六段の調」の曲想と音楽の構造や、箏の構造や演奏法について理解している。	「六段の調」の演奏を鑑賞し、そこから生まれる感動の要因について考えることができる。	「六段の調」の鑑賞活動や、その背景の理解について、主体的に取り組むことができる。
卒業式	1月～3月	卒業式における「君が代」「校歌」「式歌」の意味を理解し、それらを美しく感動的に演奏することができる。	現状に対して、より美しく感動的な合唱表現をするために必要な要素を考え、創意工夫することができる。	曲の背景の理解や歌唱練習に対して、主体的・協働的に取り組もうとしている。
具体的評価の方法		行動観察、発言、発表、ワークシート、ロイロでの振り返り、実技テスト、定期テストなど	発言、発表、ワークシート、ロイロでの振り返り、実技テスト・定期テストなど	行動観察、発言、発表、ロイロでの振り返り、ワークシート、実技テストなど